

総選挙勝利を目指す闘いの中で全会員の力で さあ新しい署名運動を開始しよう



和歌山県版
No.361
2021.9.15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
和歌山県本部

☎ 640-8343
和歌山市吉田 102
国労会館 2階
FAX : 073(422)7076

<http://wakayama.exblog.jp/>
<http://6250.teacup.com/chianijihou//bbs/>
email:chian_giseisya@yahoo.co.jp

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許すな

- 一、治安維持法体制の復活に反対する。
- 二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する法律であったことを認めること。
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと。

安倍・菅政権が崩壊しました。国民の苦難の解決を放り出して熾烈な権力闘争が繰り広げられています。いよいよ総選挙。市民と野党の共闘による新しい政府をつくる絶好の機会です。

同盟の掲げる「治安維持法犠牲者の名誉回復」は、新しい政府によってこそ実現できます。署名は、実現のための底力です。

選挙と署名の同時進行は困難が伴いますが、工夫をして有権者比1割めざして、今年も大いに頑張りますよう。

全会員の皆さんへ

署名は大量でなくても、友達、ご近所の方に気軽に協力してもらって下さい。粘り強く、あきらめないで、49回目の国会請願に挑戦しましょう。今年は一入残らず全会員の力で目標達成を実現しましょう。

署名運動は全員の参加で

8・15 「不戦の誓い」宣伝 橋本伊都那賀、海南海草支部でチラシ配布
8月15日終戦記念日の全国統一行動に、橋本・伊都支部100枚、那賀支部200枚、海南・海草支部100枚の同盟作成ビラを駅頭や団体集會会場、家庭配布などを行いました。県本部、和歌山市内3支部では11名が雨のため行動を見合わせました。

先覚者の偉業を「たたか」と「抵抗」の歴史遺産に

治安維持法犠牲者の名誉回復を求める国会請願運動も48回に及びました。

今回(21年5月)の請願で、国会議員は和歌山県選出の岸本周平議員を含め、120名が紹介議員となつて、9万筆の署名が提出されましたが、結果は審議未了廃案ということになりました。自公政権が「治安維持法は

は適正に制定され執行された」と2019年の国会で、金田法務大臣(当時)が答弁した通り、歴史に対する反省が全く見られず、本署名への拒否を党議拘束で縛っているからです。

請願運動は、49回を迎えます。粘り強いたたかいは、先人の平和と民主主義を求めた偉業への名誉回復が勝ち取られるまで続けられるでしょう。これ迄の48回に及び署名で「いつまで署名するの」との声もありますが、選挙と国会での

(3頁下段につづく)

応えられない質問に どうこたえるか

那賀支部 高瀬賢司

那賀支部では、毎月行われる憲法9条を守る共同行動には、スタンディングなどで同盟はほとんどかかさず参加してきています。

同盟の宣伝活動の「戦争開戦日」のビラも200枚を配布しています。

昨年度は、コロナなどの影響もあり、集会署名がままならず目標達成には至りませんでした。しかし、しんぶん赤旗への署名お願いのチラシなど1000枚の折り込み込みで、会員外からの署名も8人で28筆寄せられるなど新しい成果がありました。

支部ニュースも2回発行し、署名運動の参加を促しました。しかし、昨年のアンケートにもあったように、若い人を引き付けるようなイベントや学習会も計画したいものです。

会員拡大にあたって、「政府に謝罪要求は分かるが、賠償はだれがどのように求めているのか」など応えられない質問にも出会いました。

会員拡大には、このような問いにも応えられねばならないでしょう。

映画『レッドパージ』へのカンパ おかげさまで

9月7日現在、応募をいただきありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。

70年前の死刑執行を救済

アメリカ南部、バージニア州のノーサム知事は8月1日、白人女性をレイプしたとして70年前に死刑になった黒人男性7人について、人種差別に基づく偏った裁判手続きが行われていたとして救済しました。

1908年から51年までの間に、レイプ犯罪を理由に処刑された45人が黒人だったことを挙げ、「7人は黒人だったから処刑された。それは正しくなかった」と述べたという事です。何かと問題のあるアメリカの行政ですが、今人権問題をさかのぼって究明、誤りは謝罪するという流れが生まれているようです。

(『しんぶん赤旗』9月2日記事より)

こだま

◆防衛省が来年度予算の概算要求を決定したと報じられた。軍事費の総額は、5兆4797億円。21年度当初予算比1374億円(2.6割)増だといわれる。

「軍事費を押し上げる大きな要因は、F35オスプレイや滑空無人機など…米国製の高額兵器…」(しんぶん赤旗)潮流だ。◆一方で、今日の日本の国民が命の危険を感じ、日々命を奪われているのは、銃弾でも砲弾でもなく、目に見えるウイルスであり、気候変動による想像もできない大災害である。高額な戦闘機など何の役にも立たない。◆自公政権の、新型コロナウィルスの対策はあまりにも粗末である。使い物にならないアベノマスク(布マスク)の費用は、260億円ともいわれる税金の無駄遣いだ。◆現場の医師・学者の意見を無視し、オリンピック、パラリンピックを開催。全国的なパンデミックを引き起こしている。報道によると、五輪、パラリンピック期間中に72万人以上の感染と1241人が命を落としたといわれる。◆それでも、「光が見えた」などといった首相は、政権を投げ出した。もうすぐ総選挙。政権をかえる絶好の機会である。

渡辺順三のうた

スマホで遊んでいたら、渡辺順三という名前が出てきました。戦前戦後を通じての反骨の歌人です。久しぶりに感動しながらスマホで読みました。30年ほど前に夢中になってこの人の作品を読んだものです。しかし、持っていた歌集は長く行方不明ですので、以下、「新日本歌人協会」のブログからのコピー(しかも超部分的)ですが、是非紹介させていただきます。

＊遠い遠い春を待つ心の切なさだ
荒涼とした野道の日暮れ (1937年)

弾圧が熾烈を極めたころ、順三は歯を食いしばりながらたたかっていた姿がしのべれます。また優しい風景歌もあります。

＊ある子供は大きな柿の樹を描いて
いて枯れ枝の一つ赤々と実を (1938年)

ところが、41年末、治安維持法違反で逮捕されます。その時の逮捕の口実の一つは右掲「赤々と実を」が、共産党だという言いがかりだった

そうです。

＊ひとときを心呆けていしわれか、
手を動かせば手に手錠あり
これは獄中歌。そして終戦。自由の身となります。

＊久々に会いしこの友も痩せており
吾ら忍苦の日の長かりし (1945年)

＊死を賭してたたかい生きし多喜二な
りわが胸に生きてわれをばげます
戦後、アメリカに蹂躪される日本の現実に怒りを歌に託します。

＊わが父祖もかかるなげきはせせり
しよ基地七百にせばめられ生く
時代の逆流、松川裁判の二審判決への怒り

＊見解の相違とは裁判長何を言う見
解の相違で死刑にされてたまるか (1953年)

戦後共産党は徐々に力をつけてゆきます。順三の胸は真心に膨らみます。＊かがやきて木も草も芽ぶく季ときとなりぬ芽吹きくるものの漲る力 (1966年)

読んでいてこちらも胸が膨らみます。次のうたは何年の作か知りませ

んが、僕の座右のうたです。毎年手帳の端に書き付けています。
＊スモッグの夜空に一つ輝ける星あり
り党の未来の如く

順三は生涯を権力と対峙してこんな
にいい歌をたくさん残してくれている
のです。

＊党を信じ党に抛りきしわれならば
晩年は心静かに生きん (75歳)

1972年、78歳でなくなられています。

(丁)

(丁よりつづく)
たたかいを創意的に組み合わせ、諦めずにたたかうことが先人の偉業に
応えることでしょう。

ここ2年間、コロナの所為もあって署名が若干減少気味です。
集会署名が困難になっていますが、その分、会員による個々の署名が大
事です。全会員が署名に参加し、自分
の一筆でも出していくことが大事で
す。選挙の時は選挙に集中し、コロナ
には十分気を付けて、憲法守れの運
動と共同してがんばりましょう。

『犠牲者名簿』(第2版)から (29)

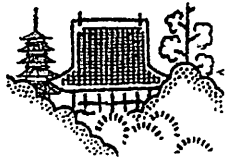
『和歌山県の治安維持法犠牲者』(第2版)、同補訂資料版から、いろいろ紹介します。

〈宗教関係者 4〉

楠本 幸覺 (くすもとこうかく)

本籍 和歌山県西牟婁郡田辺町下屋敷(現田辺市)

1941年、和歌山県西牟婁郡において宗教結社「御国教」の宗教活動により治安維持法違反ならびに不敬事件で検挙され、1942年6月27日起訴される(54歳)。違反容疑は、神官並びに皇室の尊厳を冒瀆する協議を流布することを目的として「御国教」を結成し、教祖としてこれを指導したとされる。1943年12月24日、懲役2年、執行猶予5年の判決を受ける。



随 古今集を讀んでいて 21

燕子花

唐衣着つつなれにしつましあれば
はるばるきぬる袿をしぞ思ふ

新珠(410)在原業平

『伊勢物語』にもある有名な歌で、『古今集』では「三河国八つ橋といふ所に至れりけるに、その川のほとりに燕子花いとおもしろく咲きけるを見て…」との詞書がある。

各句の頭の文字をつなぐと「かきつばた」。折句という。「唐衣着つつ」は、「なれ」を導く序詞。「なれ」は、衣の妻れと妻の馴れの掛詞。「つま」も妻と棲、「はるばるきぬる」も、遙々来ぬると張る張る着ぬるの掛詞。そして、妻れ・棲・張る・着ぬるは、衣の縁語。レトリック満載でゲップが出そうになるが、読後感はいじみさせられる。都に残してきた妻への思いがにじんでいるからだろうか。『伊勢物語』では、歌を聞いた同行者たちが乾飯の上に涙落とす。名歌だと思う。

日本絵画史上の傑作、尾形光琳「燕子花図屏風」は、この歌がなければ生まれえなかった。八つ橋や燕子花は、好んで絵の題材とされ、多くの蒔絵や屏風絵が作成されたし、お菓子まである。全てこの歌のお陰である

(楨)



俳句

八月や請われ戦争体験談

由井耀子

大空襲生き延び卒業敗戦日

東京京子

涼風や八十路の手習い筆を持つ

谷岡米子

白百合の花びらくるり反り返り

野田智子

学童の子等の頭上の舞うとんぼ

久保田育代